

第40回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	中島ゼミⅡ
チーム名	ゲイバー☆ムネオ
タイトル	ユニクロ×ドラッカー ～経済学部の学生が、ユニクロ経営にもの申す！～
テーマ群	e)産業・企業
メンバー	◎有田 昌輝 秋山 貴大 白坂 勇二 鈴木 隆将 鈴木 拓巳 田邊 宗太郎 中村 浩亮 福島 拓巳
研究計画内容	<p>皆さんは‘ユニクロ’という企業をご存知ですか？ 皆さんは‘ドラッカー’という人物をご存知ですか？</p> <p>ユニクロとドラッカーについてご存知の方には、上記のアホな質問まことに失礼致しました。また、ご存知でない方は、僕達の発表で勉強して帰って頂けると幸いです。</p> <p>【研究動機】</p> <p>これまでゼミでピーター・ドラッカーの本を読んできました。彼は組織と人間の関係性について非常に面白い考察をしてきた経営学者です。一方、日本経済が低迷している状況下において、順調に業績を伸ばしているユニクロのことを調べていると、ユニクロの社長、柳井正氏がドラッカーの著作から非常に大きな影響を受けている事を知りました。そこで、僕達はユニクロとドラッカーの関連性を調べ、ユニクロの成長の鍵を探っていく中で、ユニクロの経営について考察してみる事にしました。</p> <p>【研究方法】</p> <p>まず、アパレル業界におけるユニクロの位置づけを確認するため、WACCやEVAスプレッドといった経済学的視点に基づく企業間の比較分析を行います。次に、ユニクロの柳井社長がドラッカーの経営思想に強く影響を受けた事を中心に、他社にはないユニクロの独自性をあぶり出し、その成長の鍵を探っていきます。ユニクロを賞賛するのではなく、かといって貶（おとし）めるのでもなく、等身大のユニクロを見極めていく中で、ユニクロという会社の「可能性」を考察していきたいと考えています。</p> <p><u>いざ、経済学部の「チーム；ゲイバー☆ムネオ」が、ユニクロ経営にもの申す！</u></p>